

# みんなのひろば

# 視

# 点

事の考え方といった  
いわゆる組織論的な  
勉強をする機会も少  
ないのです。

新しい職員が初期  
の段階でいわゆるホウレン  
ウ(報告・連絡・相談)の重

的にその役割を果たしていけ  
るような環境をつくることも  
重要だと思えます。

保育の現場にまずなくては  
ならないのは、子どもたちを  
受け止める広く温かい心であ  
ることは言うまでもありませ  
ん。しかし、現在の福祉の世  
界には、それにプラスして職  
業人、企業人としての厳しい  
意識も必要です。相反するよ  
うなこの二つの意識(心)の  
バランスをどのように取って  
いくかがこれからの福祉施設  
運営のキーポイントではない  
かと考えます



前橋市柏倉町

県保育協議会会長、赤城育心こども園園長

ふか まち  
深町

じょう  
穰

## 役割理解し自ら行動を

へもつと上を目指して世の中  
の動きを敏感に捉え、同時  
に子どもたちにとつて何が大  
切かを考えながら職員が一体  
となって進んでいくといった  
動きを組織的に行う点では、  
当園は、少々弱いのではない  
かと思えます。いろいろな園  
の園長先生のお話を伺ってみ  
ると、このことは当園に限ら  
ず、この業界に共通する問題  
でもあるようです。

職員が参加する研修は、幼  
児の理解や指導に関するもの、  
運動会の実技研修などが  
大半を占め、保育者が企業人  
として働くためのポイントを  
学ぶ機会はほとんどありません。  
他の園においても新入人  
として仕事を始める際に、大  
企業で行われるような数週間か  
ら数カ月にあたる新人研修が行  
われることはまれだと思いま  
す。従って企業の中でのコミ  
ュニケーションの在り方、物

要性を学ぶなど基礎的な理  
解をすることや、中堅とい  
われる職員が若い職員を指導  
する必要性を自ら感じ、自発

自分の所属する組織が何の  
ために存在し、その中で自分  
はどのような役割を求められ  
ているのかを考え、実践する。  
そのことが、新たな時代を生  
きる私たち一人一人に求めら  
れていると考えます。

【略歴】2003年から

園長。19年、県保育協議

会会長に就任。いち早く

こども園運営に乗り出し

たほか、地域子育て支援

センターの運営に関わ

る。上智大学学部卒。

組織論